



## 2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 コーア商事ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9273 URL <https://www.koashoji-hd.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 首藤 利幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小松 美代子 TEL 045 (560) 6607  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年6月期第1四半期の連結業績（2024年7月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	5,027	△13.7	1,125	△6.0	1,200	0.8	794	4.9
2024年6月期第1四半期	5,823	8.7	1,197	17.9	1,191	21.6	757	25.0

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 768百万円 (0.6%) 2024年6月期第1四半期 763百万円 (26.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	18.87	-
2024年6月期第1四半期	19.12	-

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	31,990	25,272	79.0
2024年6月期	32,004	25,051	78.3

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 25,272百万円 2024年6月期 25,051百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	-	0.00	-	13.00	13.00
2025年6月期	-	-	-	-	-
2025年6月期（予想）	-	0.00	-	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,350	5.5	4,620	5.4	4,600	5.3	3,080	4.5	73.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年6月期1Q	42,119,980株	2024年6月期	42,119,980株
2025年6月期1Q	1,356株	2024年6月期	1,356株
2025年6月期1Q	42,118,624株	2024年6月期1Q	39,618,624株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	9
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、物価高騰の影響を受けつつも、雇用・所得環境の改善による個人消費の増加等により景気は緩やかな回復基調にありました。一方で、ウクライナや中東情勢の長期化、インフレの鎮静化、景気後退懸念を理由として欧米諸国での金利引き下げが行われたほか、日本ではマイナス金利政策の解除など金融正常化の動きにより株価・為替の急激な変動、地政学的リスクの高まり、世界経済の不確実性等により、先行き不透明な状況が続いております。このような環境の中、輸入販売を行う原薬販売事業では国際情勢の緊迫化による物流面での遅延等のリスクに備えて、医薬品製造業者やサプライヤーとの連絡を密に行い、早期に在庫や物流手段を確保すること等により原薬を必要な時期に納入できるように努めております。

医薬品業界におきまして厚生労働省は、ジェネリック医薬品の使用を促すため、2013年に策定した「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」を、「安定供給の確保を基本として、後発医薬品を適切に使用していくためのロードマップ」として2024年9月30日に改訂しました。その中で数値目標として「医薬品の安定的な供給を基本としつつ、後発医薬品の数量シェアを2029年度末までに全ての都道府県で80%以上」を主目標に、副次目標として「2029年度末までに、パオシミラーが80%以上を占める成分数が全体の成分数の60%以上」と「後発医薬品の金額シェアを2029年度末までに65%以上」（2023年度は56.7%）と明記しました。また、2024年10月1日よりジェネリック医薬品が販売されている先発医薬品である長期収載品に対して選定療養の仕組みが導入され、対象となる医薬品においてはジェネリック医薬品との差額の4分の1は患者負担が増えることになりました。これらのジェネリック医薬品促進策により、さらなる市場の拡大が見込まれております。

当社グループでは、2030年をターゲットとした長期事業計画を策定し2030年のなりたい姿として、原薬販売事業は「原薬輸入商社から、医薬品専門商社へ」、医薬品製造販売事業は「注射剤を主としたジェネリック医薬品メーカーから、特長のある注射剤国内トップメーカーへ」を掲げ、取り組んでまいりました。この2つのテーマに向けた戦略を推進していくことで長期事業計画の実現を目指してまいります。

#### 2030年6月期財務目標

項目	目標
連結売上高	400 億円
連結営業利益	80 億円

当第1四半期連結累計期間において、原薬販売事業では、前期改修工事を行った大阪医薬分析センターで出荷に先立って行われる試験の実施回数を増やし医薬品原薬等の流通量を増加させております。横浜医薬分析センターでは、取扱い品目の一部を大阪へ移管し、ジェネリック医薬品の新規承認取得に求められるサポート業務に注力することにより、さらなる取引拡大への対応を進めております。医薬品製造販売事業では、安定供給責任を果たし、今後さらなる需要拡大に対応するため蔵王第二工場の新設を2027年7月の稼働に向けて計画通り進めております。本建設により、医薬品現場からのニーズの高いプレフィルドシリンジ製剤の増産と、検討を進めている新規受託案件を獲得することで、さらなる事業拡大を目指してまいります。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,027百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益1,125百万円（前年同期比6.0%減）、経常利益1,200百万円（前年同期比0.8%増）、法人税等の合計額405百万円を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益794百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### 原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、「感覚器官用薬」用原薬の販売が近年上市した品目の拡販等により増加した一方で、「循環器官用薬」用原薬や「抗生物質製剤」用原薬が、既存品を中心に前期から発生している得意先での在庫調整、競合の参入があったこと、顧客の仕入タイミングの影響等により減少し、当第1四半期連結累計期間の売上高は、2,988百万円（前年同期比26.1%減）、セグメント利益は473百万円（前年同期比30.9%減）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高278百万円を含んでおります。

#### 医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、受託製造しているプレフィルドシリンジ製剤の販売が2024年1月から行っている増産対応等により堅調に推移し、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,317百万円（前年同期比3.9%増）となりました。セグメント利益は、収率向上等による生産性の改善や売上構成の変化等により620百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末に比べてほぼ横ばいの31,990百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加668百万円等があった一方で、受取手形及び売掛金の減少433百万円、仕掛品の減少60百万円等があったことによるものであります。

負債は6,717百万円となり、前連結会計年度末に比べ234百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加542百万円等があった一方で、未払法人税等の減少378百万円、電子記録債務の減少210百万円等があったことによるものであります。

純資産は25,272百万円となり、前連結会計年度末と比べ220百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益794百万円の計上による増加があった一方で、配当金支払による減少547百万円があったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.7ポイント増加し、79.0%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の連結業績予想につきましては、2024年8月9日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,954,886	13,913,823
受取手形及び売掛金	※2 3,800,944	3,367,893
電子記録債権	※2 4,603,600	4,571,136
商品及び製品	1,151,024	1,819,151
仕掛品	534,249	473,867
原材料及び貯蔵品	580,985	586,840
その他	149,505	160,542
流動資産合計	24,775,196	24,893,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,655,516	5,658,971
減価償却累計額	△2,548,576	△2,606,616
建物及び構築物 (純額)	3,106,939	3,052,354
機械装置及び運搬具	3,844,307	3,842,307
減価償却累計額	△2,662,715	△2,745,013
機械装置及び運搬具 (純額)	1,181,592	1,097,293
工具、器具及び備品	1,474,651	1,471,283
減価償却累計額	△1,167,010	△1,177,353
工具、器具及び備品 (純額)	307,641	293,929
土地	1,761,774	1,761,774
建設仮勘定	477,884	555,704
有形固定資産合計	6,835,831	6,761,056
無形固定資産		
その他	11,951	9,941
無形固定資産合計	11,951	9,941
投資その他の資産		
投資有価証券	101,074	96,300
繰延税金資産	244,189	196,401
退職給付に係る資産	23,168	20,960
その他	12,603	12,165
投資その他の資産合計	381,036	325,828
固定資産合計	7,228,819	7,096,827
資産合計	32,004,016	31,990,083

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 1,486,785	2,029,675
電子記録債務	※2 718,626	507,803
短期借入金	※1 860,000	※1 860,000
1年内返済予定の長期借入金	373,904	349,904
未払法人税等	731,912	353,020
賞与引当金	46,676	106,773
その他	759,044	617,925
流動負債合計	4,976,949	4,825,101
固定負債		
長期借入金	1,591,384	1,519,384
繰延税金負債	1,129	3,780
役員退職慰労引当金	151,137	154,122
退職給付に係る負債	152,557	138,573
その他	79,183	76,494
固定負債合計	1,975,392	1,892,355
負債合計	6,952,341	6,717,457
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,338,752	1,338,752
資本剰余金	1,022,303	1,022,303
利益剰余金	22,643,004	22,890,450
自己株式	△407	△407
株主資本合計	25,003,652	25,251,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,470	37,262
繰延ヘッジ損益	6,552	△15,734
その他の包括利益累計額合計	48,022	21,527
純資産合計	25,051,674	25,272,625
負債純資産合計	32,004,016	31,990,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	5,823,138	5,027,798
売上原価	4,100,088	3,369,403
売上総利益	1,723,049	1,658,395
販売費及び一般管理費	※1 525,893	※1 532,899
営業利益	1,197,156	1,125,495
営業外収益		
受取利息及び配当金	907	937
受取手数料	672	150
為替差益	—	40,148
受取補償金	413	33,782
その他	1,552	3,432
営業外収益合計	3,546	78,450
営業外費用		
支払利息	1,670	2,961
為替差損	7,995	—
その他	0	99
営業外費用合計	9,666	3,060
経常利益	1,191,036	1,200,886
税金等調整前四半期純利益	1,191,036	1,200,886
法人税、住民税及び事業税	417,837	342,165
法人税等調整額	15,613	63,732
法人税等合計	433,450	405,897
四半期純利益	757,585	794,988
親会社株主に帰属する四半期純利益	757,585	794,988



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	757,585	794,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,933	△4,208
繰延ヘッジ損益	△2,730	△22,287
その他の包括利益合計	6,202	△26,495
四半期包括利益	763,788	768,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	763,788	768,493

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1 当社及び連結子会社は、運転資金の効率的な調達を行うために取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当座貸越契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
当座貸越極度額	5,000,000千円	5,000,000千円
借入実行残高	860,000	860,000
差引額	4,140,000	4,140,000

※2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
受取手形	27,036千円	一千円
電子記録債権	249,222	—
支払手形	1,485	—
電子記録債務	196,863	—

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1 一般管理費に含まれる研究開発費の総額

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
研究開発費	26,439千円	30,455千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	174,689千円	168,534千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,593,041	2,230,096	5,823,138	—	5,823,138
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,593,041	2,230,096	5,823,138	—	5,823,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	449,077	—	449,077	△449,077	—
計	4,042,119	2,230,096	6,272,216	△449,077	5,823,138
セグメント利益	686,051	525,650	1,211,702	△14,546	1,197,156

(注) 1. セグメント利益の調整額△14,546千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,710,019	2,317,778	5,027,798	—	5,027,798
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,710,019	2,317,778	5,027,798	—	5,027,798
セグメント間の内部売上高 又は振替高	278,238	—	278,238	△278,238	—
計	2,988,258	2,317,778	5,306,036	△278,238	5,027,798
セグメント利益	473,744	620,950	1,094,694	30,801	1,125,495

(注) 1. セグメント利益の調整額30,801千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。